

コロナ禍 と 資本主義

宅配の闇①

「誰か来た」。
白所横のインターホンが
鳴りました。
「お問い合わせです」
配達員は、抱えていた段
ボール箱を差し出す。一聲
の会釈をして足早に去って
いきました。
僕もああやつて配つてく
たな…。



④ 楽天の口ゴニ 東京都内
⑤ 楽天エクスプレス終了への憤りを語るたくみさん（仮名）



雨やドライバーの手配を内
投げしていました。事実
上、楽天の指揮命令の下で
宅配業を担っていたのはた
くみさんたち個人事業主の
ドライバーです。

しかし朝から晚まで車を走らせても荷物が一向になくなりません。没落。その事態が次々に起こります。組み立てた配送ルートは、じつに崩れ、時間指定に間に合いません。1日の走行距離は多い時でおよそ130キロ。配達先に向かう移動時間が「休憩」でし

利潤がかかるインターネット通販を最前線で支えるのが個人事業主の宅配ドライバーです。ネット通販大手の楽天やアマゾンは配達業務を下請けに丸投げしながら何兆円もの利益を独占してきました。現代資本主義の矛盾が噴き出す宅配の現場。その闇をたたずため、人々が立ち上がりています。

たくみさん(28)=仮名　ONI-1年5月、突然職を失
=は名前も知らない配達員　いました。「約1200
に、かつての自分を重ねま　人」(楽天関係者)の同業
した。　者とともに、一斉に切り捨

用時点で人口の63・5%を
カバーしていました。
「配達丸投げ」
された配達リストを眺めな
がら、時間指定の荷物はい
づつあるか、どうから先に
回れば効率よく配り終えら
れるかー、頭の中で必死に
組み立てました。

楽天 1200人を切り捨て

九三

朝6時、会社から販売させたためです。

楽天エクスプレスは、通常販サイト「楽天市場」などで販売する商品の一部を配達する事業。16年11月に始動し、事業が終わる21年5月時点での人口の63・5%をカバーしていました。

配達丸投げ

「日社」とは名ばかりで、楽天は業務委託を受けた各地の運送会社に配達車両やドライバーの手配を丸投げしていました。事実上、楽天の指揮命令の下で実配送を担当していたのはたぐみさんたち個人事業主のドライバーです。

「酒の配達をしていた経験を生かせる」との思いで始めた宅配業者。その仕事は、想像を絶する過酷なものでした。

された軽バンで向かったのは首都圏の倉庫です。楽天から貸与されたスマートフォンを受け取り、楽天指定の業務用アプリを起動。表示された配達リストを眺めながら、時間指定の荷物はいくつあるか、どこから先に回れば効率よく配り終えられるか、頭の中で必死に組み立てました。

しかし、朝から晩まで車を走らせてても荷物が一向になくなりません。没滞。そして再配達の依頼…。不測の事態が次々に起こります。組み立てた配達ルートはいよいよ崩れ、時間指定に間に合いません。一日の走行距離が多い時でおよそ130キロ。配達先に向かう移動時間が「休憩」でした。

(8面ひつい)

